

# 脳血管疾患ロジックモデル【概要図】

(指標などの標記なし)

資料3-1





# 脳血管疾患ロジックモデル【各指標と評価】 (全体版)

資料3-2

### C 初期アウトカム (+個別政策アウトプット)

番号	C 個別政策アウトプット	C 初期アウトカム	C 初期アウトカム指標	※がついている値は、は人口10万対		※目標値は令和9年度末(時点の異なる場合は時点も記載)		評価		
				初期値(計測年度時の値)	初期値の年又は年度	現況値	現況値の年又は年度			
1	生活習慣病予防、重症化予防に係る取組、循環器病の発症等の把握の取組	高齢者の認知症普及させる	C101	みやげヘルスサテライトステーション登録施設数	127	令和3年度	149	令和4年度	145	◆改善している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
			C102	簡便外来を行っている医療機関数	11.9	平成29年度	12.4	令和2年度	—	モニタリング指標
			C103	ニコチン依存管理科を算定する患者数	282.6	平成29年度	276.2	令和2年度	—	モニタリング指標
			C201	特定健診の追加診察で心電図検査を行う市町村数	15	令和2年度	13	令和2年度	22	◆悪化している項目は、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある
2	健診等に携わる人材の育成、健診実施者に対する専門的見地からの指導	特定健診の内容が充実されている。また、特定健診・特定保健指導を受けることができる	C202	特定保健指導実施者へ受診勧奨を実施している市町村数	23	令和2年度	30	令和4年度	27	◆悪化している項目は、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある
			C203	特定保健指導の未利用理由を全部又は一部把握している市町村数	19	令和2年度	22	令和4年度	24	◆悪化している項目は、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある
			C204	みやげヘルスサテライトステーション登録施設数(簡便)	127	令和3年度	149	令和4年度	145	◆改善している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
			C301	訪問看護ステーションの従業者数	998人	平成30年度	1,447人	令和3年度	1,019人	1,019人
3	在宅療養の充実	再発予防の治療や基礎疾患・老健患者の管理、合併症への対応が可能な体制が整備されている	C302	訪問薬剤指導を実施する薬局数の割合(医療)	76%	令和3年度	70%	令和3年度	80%	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
			C401	暮らしと健康の両立人口1万人あたりの受診回数	163	令和元年	66.8	令和3年	170	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
4	応急手当の普及	本人及び家族等が発症後速やかに救急搬送要請ができる体制が整備されている	C501	救急隊の救急救命士運用率(常時所属している割合)	91.0%	令和元年	92.1%	令和3年	100%	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
			C502	救急隊による救急搬送要請の割合(医療)	43	令和2年度	43	令和2年度	45	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
5	救急救命士の養成	救急隊員が、地域のデジタルプラットフォームに接続できる救急隊員(救急隊員)の養成	C601	救急隊員養成施設に接続している脳血管疾患患者の割合(医療)	351	令和2年度	417	令和3年度	—	モニタリング指標
			C602	ドクターヘリの要請件数	—	—	—	—	—	—
7	専門医の育成・確保に関する支援	脳卒中の急性期医療に対応できる体制が整備されている	C701	神経内科医師数	4.7	平成30年	4.2	令和2年	—	モニタリング指標 (すべてモニタリング指標)
			C702	脳神経外科医師数	4.6	平成30年	6.7	令和2年	—	モニタリング指標
			C703	脳卒中の専用病室を有する病床数	0.1	平成29年	0.1	令和2年	—	モニタリング指標
			C704	脳卒中の専用病室を有する病床数	0.5	平成29年	0.5	令和2年	—	モニタリング指標
8	地域包括ケアシステムの構築	急性期の医療機関等と回復期の医療機関等の連携体制及び在宅医療連携体制が整備されている	C801	遠隔支援担当者配置している診療所・病院数	55	平成29年度	74	令和2年	—	モニタリング指標
			C802	地域のサービスとの連携窓口を設置している医療機関数	10.5	令和元年10月	10.9	令和3年10月	—	モニタリング指標
10	認定看護職員取得者の促進	再発予防の指導や基礎疾患・老健患者の管理、合併症への対応が可能な体制が整備されている	C1001	脳卒中看護分野の認定看護職員数	0.4	令和2年12月	0.4	令和4年12月	—	モニタリング指標 (すべてモニタリング指標)
			C1101	認知機能管理を受ける患者数	433.0	令和元年度	455.0	令和2年	—	モニタリング指標
11	認知機能管理受療率の向上(再掲)	急性期の医療機関等と回復期の医療機関等の連携体制及び在宅医療連携体制が整備されている	C1102	訪問医療指導を受ける患者数	4113.2	令和元年度	3750.4	令和2年	—	モニタリング指標
			C1201	病院に勤務する認知症ソーシャルワーカー数	7.7	平成29年	10	令和2年	—	モニタリング指標
12	地域包括ケアシステムの構築(再掲)	急性期の医療機関等と回復期の医療機関等の連携体制及び在宅医療連携体制が整備されている	C1202	認知症支援担当者配置している診療所・病院数(再掲)	55	平成29年度	74	令和2年	—	モニタリング指標
			C1301	リハビリテーション専門職等の人材の育成のためのリハビリテーション指導者数	4.3	令和2年3月	4.5	令和3年3月	4.5	◆改善している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
13	リハビリテーション専門職等の人材の育成	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーション指導者数	C1302	訪問リハビリを提供している従事者数	10.0	令和2年7月	—	(確認)	10.7	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
			C1303	通所リハビリを提供している従事者数	15.2	令和2年7月	—	(確認)	17.6	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
			C1304	リハビリテーション相談件数	166	令和2年度	194	令和4年度	245	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
			C1305	通所リハビリを提供している従事者数	15.2	令和2年7月	—	(確認)	17.6	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)

資料3-5

### B 中間アウトカム

番号	B 中間アウトカム	B 中間アウトカム指標	※がついている値は、は人口10万対		※目標値は令和9年度末(時点の異なる場合は時点も記載)		評価		
			初期値(計測年度時の値)	初期値の年又は年度	現況値	現況値の年又は年度			
1	基礎疾患及び危険因子の管理がされている	B101	喫煙率(男性)国民生活基礎調査	33.2%	令和元年度	32.5%	令和4年	20%	◆改善している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B102	喫煙率(女性)国民生活基礎調査	9.7%	令和元年度	8.1%	令和4年	6%	◆改善している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B103	喫煙率(女性)国民生活基礎調査	11.7%	平成28年	—	—	—	—
		B104	喫煙率(女性)国民生活基礎調査	16.2%	平成28年	17.4%	令和4年	12%	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B105	喫煙率(女性)国民生活基礎調査	8.0%	平成28年	9.1%	令和4年	6%	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B106	特定健診受診率	61.2%	令和元年度	61.7%	令和3年度	70%	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B107	特定健診受診率	25.2%	令和元年度	25.1%	令和3年度	45%	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B108	特定健診受診率のうちメタボリックシンドローム該当者・予備群割合	31.4%	令和元年度	32.2%	令和3年度	29%	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B109	糖尿病者の年齢調整死亡率(男性)	4.5	平成27年度	4.7	令和2年度	—	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B110	糖尿病者の年齢調整死亡率(女性)	1.8	平成27年度	1.9	令和2年度	—	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
2	専門医療機関へ搬送される	B201	救急搬送(要請)から搬送機関への搬送までの平均時間	41.7分	令和元年	44.9分	令和3年	39.5分	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B301	脳卒中に対するPAによる血栓溶解療法の実施件数(算定回数)	13.6	令和元年度	14.9	令和3年	—	モニタリング指標
		B302	脳卒中に対するPAによる血栓溶解療法の実施件数(算定回数)	59.1	令和元年度	92.0	令和2年	—	モニタリング指標
		B303	脳卒中に対する脳血管内治療(経皮的脳血管形成治療等)の実施件数(算定回数)	11.2	令和元年度	17.2	令和3年	—	モニタリング指標
		B304	脳卒中に対する脳血管内治療(経皮的脳血管形成治療等)の実施件数(算定回数)	69.2	令和元年度	61.8	令和2年	—	モニタリング指標
		B305	脳卒中に対する脳血管内治療(経皮的脳血管形成治療等)の実施件数(算定回数)	5.5	令和元年度	5.5	令和3年	—	モニタリング指標
		B306	脳卒中に対する脳血管内治療(経皮的脳血管形成治療等)の実施件数(算定回数)	113.2	令和元年度	126.5	令和2年	—	モニタリング指標
		B307	脳卒中に対する脳血管内治療(経皮的脳血管形成治療等)の実施件数(算定回数)	126.5	令和元年度	143.1	令和2年	—	モニタリング指標
		B308	脳卒中に対する脳血管内治療(経皮的脳血管形成治療等)の実施件数(算定回数)	142.0	令和元年度	147.3	令和3年	—	モニタリング指標
		B309	脳卒中に対する脳血管内治療(経皮的脳血管形成治療等)の実施件数(算定回数)	64.5	令和元年度	62.5	令和2年	—	モニタリング指標
3	施設後発症期に専門的治療(リハビリテーション)を受けられる	B310	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	65,569.1	令和元年度	70,784.8	令和2年	—	モニタリング指標
		B311	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	79.1	令和元年度	82.5	令和2年	—	モニタリング指標
		B312	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	32.5	令和元年度	39.6	令和2年	—	モニタリング指標
		B313	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	47.3	令和元年度	59.3	令和2年	—	モニタリング指標
		B314	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	—	—	—	—	—	—
		B315	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	—	—	—	—	—	—
		B316	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	—	—	—	—	—	—
		B317	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	—	—	—	—	—	—
		B318	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	—	—	—	—	—	—
		B319	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	—	—	—	—	—	—
4	身体機能の早期改善、日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる	B401	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	1,422	令和元年度	1,473.3	令和3年	—	モニタリング指標 (すべてモニタリング指標)
		B402	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	64.5	令和元年度	62.5	令和2年	—	モニタリング指標
		B403	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	68,486.5	令和元年度	54,455.3	令和3年	—	モニタリング指標
		B404	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	69.5	令和元年度	72.3	令和2年	—	モニタリング指標
5	ADL改善率	B405	ADL改善率	0.6	令和2年度	—	—	—	◆改善率向上の項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B406	訪問リハビリを提供している事業者数	2.5	令和2年7月	2.2	令和3年度	2.7	◆改善率向上の項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B407	通所リハビリを提供している事業者数	5.4	令和2年7月	5.4	令和3年度	6.3	◆改善率向上の項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		B408	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(算定回数)	32.5	令和元年度	39.6	令和2年	—	モニタリング指標
6	脳血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる	B601	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(算定回数)	47.3	令和元年度	59.3	令和2年	—	モニタリング指標
		B602	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(算定回数)	—	—	—	—	—	—

資料3-4

### A 分野アウトカム

番号	A 分野アウトカム	A 分野アウトカム指標	※がついている値は、は人口10万対		※目標値は令和9年度末(時点の異なる場合は時点も記載)		評価		
			初期値(計測年度時の値)	初期値の年又は年度	現況値	現況値の年又は年度			
1	脳血管疾患の発生が減少している	A101	脳血管疾患の受療率(入院)	91人	平成29年度	73人	令和2年	モニタリング指標 (すべてモニタリング指標)	
		A102	脳血管疾患の受療率(外来)	56人	平成29年度	47人	令和2年	モニタリング指標	
		A103	脳血管疾患患者数	148.3	平成29年度	122.7	令和2年	モニタリング指標	
2	脳血管疾患による死亡が減少している	A201	脳血管疾患の年齢調整死亡率(男性)	43.0	平成27年	40.0	令和2年度	37.1	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A202	脳血管疾患の年齢調整死亡率(女性)	23.7	平成27年	22.6	令和2年度	22.2	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A203	脳卒中標準化死亡率(脳出血)(男性)	126.522	平成25年~平成29年	—	令和8年4月更新数予定	100(全国値)を下回る	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A204	脳卒中標準化死亡率(脳出血)(女性)	129.742	平成25年~平成29年	—	令和8年4月更新数予定	100(全国値)を下回る	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A205	脳卒中標準化死亡率(脳梗塞)(男性)	108.915	平成25年~平成29年	—	令和8年4月更新数予定	100(全国値)を下回る	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A206	脳卒中標準化死亡率(脳梗塞)(女性)	111.818	平成25年~平成29年	—	令和8年4月更新数予定	100(全国値)を下回る	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A207	脳卒中標準化死亡率(脳出血)(全体)(男性)	114.269	平成25年~平成29年	—	令和8年4月更新数予定	100(全国値)を下回る	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A208	脳卒中標準化死亡率(脳梗塞)(全体)(女性)	115.281	平成25年~平成29年	—	令和8年4月更新数予定	100(全国値)を下回る	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A209	健康寿命(男性)	72.90年	令和元年	—	令和5年度更新数済み	73.15年	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A210	健康寿命(女性)	75.10年	令和元年	—	令和5年度更新数済み	75.22年	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
3	脳血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる	A301	在宅療養生活の場において脳血管疾患患者の割合	0.5	平成29年度	—	令和5年度更新数予定	60%(令和2年)	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A302	健康寿命と平均寿命の差(男性)	8.82年	平成28年	8.72	令和元年	8.51年	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
		A303	健康寿命と平均寿命の差(女性)	12.86年	平成28年	12.56	令和元年	12.63年	◆悪化している項目と、悪化している項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)

資料3-3

改善 ↑ 悪化 ↓ 変化なし → 3進 目標達成

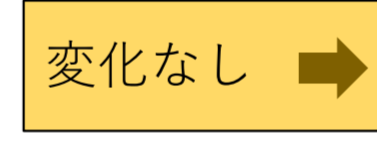
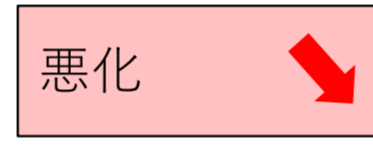
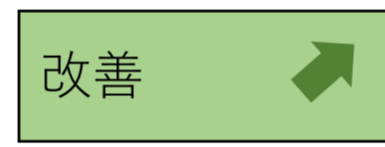


# 脳 A 分野アウトカム(拡大版)

備考) ※がついている値は、は人口10万対

※目標値は令和5年度末  
(時点が異なる場合は時点も記載)

番号	A分野 アウトカム	A分野 アウトカム指標	備考 ※	初期値 (計画策定 時の値)	初期値の値の 年又は年度	現況値	現況値の 年又は年度	目標値	評価	
1	脳血管疾患の発生が減少している	A101	脳血管疾患の受療率(入院)	※	91人	平成29年	73人	令和2年	モニタリング指標	(すべてモニタリング指標)
		A101	脳血管疾患の受療率(外来)	※	56人	平成29年	47人	令和2年	モニタリング指標	
		A102	脳血管疾患患者数	※	148.3	平成29年度	122.7	令和2年	モニタリング指標	
2	脳血管疾患による死亡が減少している	A201	脳血管疾患の年齢調整死亡率(男性) (上段は昭和60年、下段は平成27年モデル人口)	※	43.0 128	平成27年	40.0 110.7	令和2年度	37.1 -	◆良くなっている (目標は達成していない) ◆今回、評価できない項目が多い
			脳血管疾患の年齢調整死亡率(女性) (上段は昭和60年、下段は平成27年モデル人口)	※	23.7 81.5	平成27年	22.6 71	令和2年度	22.2 -	
		A202	脳卒中標準化死亡比(脳出血)(男性)		126.5	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新予定	100(全国値) を下回る	
			脳卒中標準化死亡比(脳出血)(女性)		129.7	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新予定	100(全国値) を下回る	
			脳卒中標準化死亡比(脳梗塞)(男性)		108.9	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新予定	100(全国値) を下回る	
			脳卒中標準化死亡比(脳梗塞)(女性)		111.8	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新予定	100(全国値) を下回る	
			脳卒中標準化死亡比(全体)(男性)		114.3	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新予定	100(全国値) を下回る	
			脳卒中標準化死亡比(全体)(女性)		115.3	平成25年 ~平成29年	—	◆令和6年4月 頃更新予定	100(全国値) を下回る	
		A203	健康寿命(男性)		72.90年	令和元年	—	◆令和5年度 更新見込み	73.15年	
			健康寿命(女性)		75.10年	令和元年	—	◆令和5年度 更新見込み	75.22年	
3	脳血管疾患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる	A301	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合		0.5	平成29年度	—	◆R5年度に 更新予定	60% (令和2年)	◆すべての項目が 良くなっている
		A302	健康寿命と平均寿命の差(男性)		8.82年	平成28年	8.72	令和元年	8.51年	
			健康寿命と平均寿命の差(女性)		12.86年	平成28年	12.56	令和元年	達成 12.63年	





# 脳 B 中間アウトカム(拡大版)

資料3-4

備考) ※がついている値は、は人口10万対

※目標値は令和5年度末  
(時点が異なる場合は時点も記載)

番号	B中間 アウトカム	B中間 アウトカム指標	備考 ※	初期値 (計画策定時 の値)	初期値の値の 年又は年度	現況値	現況値の 年又は年度	目標値	評価	
<b>【予防】</b>										
1	基礎疾患及び危険因子の 管理ができています	B101	喫煙率(男性)国民生活基礎調査		33.2%	令和元年 平成28年	— 32.5% ↑	令和4年	20% —	◆目標を達成でき なかった。 ◆改善している指 標と、悪くなってい る項目の両方あり。 ◆値が悪くなってい るものは、状況把握 (理由・背景等の) を行い、関連する取 組を改善等する必 要がある。 (注1) 喫煙率について は、国の調査結果 が発表されていない ので、参考までに 県の調査を記載し た。 (注2) 糖尿病患者の年齢 調整死亡率につい ては、計画策定時 の初期値と目標値 に誤りがあったため 初期値を修正、目 標値は未記載とし た。
			喫煙率(男性)県民健康・栄養調査(注1)		38.5%					
		B102	喫煙率(女性)国民生活基礎調査		9.7%	令和元年 平成28年	— 8.1% ↑	令和4年	6% —	
			喫煙率(女性)県民健康・栄養調査(注1)		11.7%					
		B102	ハイリスク飲酒者の割合(男性)		16.2%	平成28年	17.4% ↓	令和4年	12%	
			ハイリスク飲酒者の割合(女性)		8.0%	平成28年	9.1% ↓	令和4年	6%	
		B103	特定健診受診率		61.2%	令和元年度	61.7% ↑	令和3年度	70%	
		B104	特定保健指導実施率		25.2%	令和元年度	25.1% ↓	令和3年度	45%	
		B105	特定健診受診者のうちメタボリックシンドローム 該当者・予備群者割合		31.4%	令和元年度	32.2% ↓	令和3年度	29%	
		B106	糖尿病患者の年齢調整死亡率(男性)		4.5	平成27年度	4.7 ↓	令和2年度	(注2)一	
			糖尿病患者の年齢調整死亡率(女性)		1.8	平成27年度	1.9 ↓	令和2年度	(注2)一	
		B107	塩分摂取量(男性)		11.4g	平成28年	10.3g ↑	令和4年	9g	
			塩分摂取量(女性)		9.5g	平成28年	9.4g ↑	令和4年	8g	
		B108	1日の歩数の増加(20~64歳男性)		6,930歩	平成28年	7,263歩 ↑	令和4年	9,000歩	
1日の歩数の増加(20~64歳女性)			6,331歩	平成28年	6,413歩 ↑	令和4年	8,500歩			
1日の歩数の増加(65歳以上男性)			5,692歩	平成28年	4,402歩 ↓	令和4年	7,000歩			
1日の歩数の増加(65歳以上女性)			4,594歩	平成28年	5,018歩 ↑	令和4年	6,000歩			
<b>【救護】</b>										
2	患者ができるだけ早期に専 門医療機関へ搬送される	B201	救急要請(覚知)から医療機関への収容までに 要した平均時間		41.7分	令和元年	44.9分 ↓	令和3年	39.5分	◆悪くなっている (目標も未達成)
<b>【急性期】</b>										
3	発症後早期に専門的な治 療・リハビリテーションを受 けることができる	B301	脳梗塞に対するt-PAIによる血栓溶解法の実施 件数(算定回数)	※	13.6	令和元年度	14.9	令和3年	モニタリング 指標	(すべてモニタリン グ指標)
			脳梗塞に対するt-PAIによる血栓溶解法の実施 件数(SCR)		59.1	令和元年度	92.0	令和2年	モニタリング 指標	
		B302	脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓 回収療養等)の実施件数(算定回数)	※	11.2	令和元年度	17.2	令和3年	モニタリング 指標	
			脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓 回収療養等)の実施件数(SCR)		69.2	令和元年度	61.8	令和2年	モニタリング 指標	
		B303	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術 の実施件数(算定回数)	※	5.5	令和元年度	5.5	令和3年	モニタリング 指標	
			くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術 の実施件数(SCR)		113.2	令和元年度	126.5	令和2年	モニタリング 指標	
		B304	くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の 実施件数(算定回数)	※	5.5	令和元年度	6.4	令和3年	モニタリング 指標	
			くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の 実施件数(SCR)		126.5	令和元年度	143.1	令和2年	モニタリング 指標	
		B305	脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(算 定回数)	※	1422.0	令和元年度	1473.3	令和3年	モニタリング 指標	
			脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数 (SCR)		64.5	令和元年度	62.5	令和2年	モニタリング 指標	
		B306	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの 実施件数(算定回数)	※	65,569.1	令和元年度	70,784.8	令和2年	モニタリング 指標	
			脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの 実施件数(SCR)		79.1	令和元年度	82.5	令和2年	モニタリング 指標	
		B307	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実 施件数(算定回数)	※	32.5	令和元年度	39.6	令和2年	モニタリング 指標	
B307	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実 施件数(SCR)		47.3	令和元年度	59.3	令和2年	モニタリング 指標			
<b>【回復期・維持期】</b>										
4	身体機能の早期改善、日 常生活への復帰、生活機 能維持・向上のためのリハ ビリテーションを受けるこ とができる	B401	脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(算 定回数)	※	1,422	令和元年度	1,473.3	令和3年	モニタリング 指標	◆目標はすべて未 達成 ◆値が悪くなってい るものは、状況把握 (理由・背景等の) を行い、関連する取 組を改善等する必 要がある 注3 ADL改善率は、計 画策定時の出典に ついて不明確な点 があるため調査 中。
			脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数 (SCR)		64.5	令和元年度	62.5	令和2年	モニタリング 指標	
		B402	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施 件数(算定回数)	※	68,486.5	令和元年度	54,455.3	令和3年	モニタリング 指標	
			脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施 件数(SCR)		69.5	令和元年度	72.3	令和2年	モニタリング 指標	
		B403	ADL改善率		0.6	令和2年度	(注3)一		0.7	
		B404	訪問リハビリを提供している事業者数	※	2.5	令和2年7月	2.2 ↓	令和3年度	2.7	
		B405	通所リハビリを提供している事業者数	※	5.4	令和2年7月	5.4 →	令和3年度	6.3	
B406	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実 施件数(算定回数)(再掲)	※	32.5	令和元年度	39.6	令和2年	モニタリング 指標			
	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実 施件数(SCR)(再掲)		47.3	令和元年度	59.3	令和2年	モニタリング 指標			



## 脳 C 初期アウトカム①(拡大版)

備考) ※がついている値は、は人口10万対

※目標値は令和5年度末  
(時点が異なる場合は時点も記載)

番号	C 個別施策 アウトプット	番号	C初期 アウトカム	C初期 アウトカム指標	備考 ※	初期値 (計画策定 時の値)	初期値の値の 年又は年度	現況値	現況値の 年又は年度	目標値	評価	
1	・生活習慣病予防、重症化予防に係る取組 ・循環器病の症例等の把握の取組	1	危険因子の知識を普及させる	C101		127	令和3年9月	149	令和4年	達成	145	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある) ◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等の)を行い、関連する取組を改善等する必要がある
				C102	禁煙外来を行っている医療機関数	※	11.9	平成29年	12.4	令和2年	モニタリング指標	
				C103	ニコチン依存管理料を算定する患者数	※	282.6	平成29年度	276.2	令和2年度	モニタリング指標	
2	・健診等に携わる人材の育成 ・保険者に対する専門的見地からの助言	2	特定健診の内容が充実されている。また、特定健診・特定保健指導を受けることができる	C201	特定健診の追加健診で心電図検査を行う市町村数		15	令和2年度	13	令和4年度		22
				C202	特定健診未受診者へ受診勧奨を実施している市町村数		23	令和2年度	30	令和4年度	達成	27
				C203	特定保健指導の未利用理由を全部又は一部把握している市町村数		19	令和2年度	22	令和4年度		24
				C204	みやぎヘルスサテライトステーション登録施設数(再掲)		127	令和3年9月	149	令和4年	達成	145
3	・在宅療養の充実	3	再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制が整備されている	C301	訪問看護ステーションの従業者数	999人	平成29年	1,447人	令和3年	達成	1,019.1人	
				C302	訪問薬剤指導を実施する薬局数の割合(医療)		76%	令和3年6月	70%	令和5年3月		80%

4	・応急手当の普及啓発	4	本人及び家族等が発症後速やかに救急搬送要請ができています	C401	普通・上級救命講習人口1万人あたりの受講者数	163	令和元年	66.8	令和3年		170	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり(目標はすべて未達成)
5	・救急救命士の養成	5	救急救命士が、地域のメディカルコントロール協議会が定めた活動プロトコルに沿って適切な観察・判断・処置ができています	C501	救急隊の救急救命士運用率(常時同乗している割合)	91.0%	令和元年	92.1%	令和3年		100%	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等の)を行い、関連する取組を改善等する必要がある
6	・傷病者の搬送及び受入れに関する基準の整備 ・ドクターヘリの安全かつ効果的な運用	6	急性期医療を担う医療機関へ迅速に搬送できる体制が整っている	C601	救急搬送実施基準に掲載している脳血管疾患対応が可能な医療機関数	43	令和2年8月	43	令和2年度		45	
				C602	ドクターヘリの要件件数		351	令和2年度	417	令和3年度	モニタリング指標	

7	・専門医の育成・認定に対する支援 ・自治体病院・診療所の医師確保 ・循環器病治療体制の更なる充実・強化 ・治療内容や医療連携に係る調査研究	7	脳卒中の急性期医療に対応できる体制が整備されている	C701	神経内科医師数	※	4.7	平成30年	4.2	令和2年	モニタリング指標	(すべてモニタリング指標)
				C702	脳神経外科医師数	※	4.6	平成30年	6.7	令和2年	モニタリング指標	
				C703	脳卒中の専用病室を有する病院数	※	0.1	平成29年	0.1	令和2年	モニタリング指標	
					脳卒中の専用病室を有する病床数	※	0.5	平成29年	0.5	令和2年	モニタリング指標	
				C704	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な病院数	※	0.4	令和2年3月	0.5	令和3年3月	モニタリング指標	
				C705	経皮的選択的脳血栓・血栓溶解術(脳梗塞に対する血栓回収術)が実施可能な病院数	※	0.6	令和3年10月	0.5	令和3年10月	モニタリング指標	
8	・口腔機能管理医療機関への支援 ・歯科歯科連携による口腔ケアの推進	8	誤嚥性肺炎等の合併症の予防及び治療が行える体制が整備されている	C801	口腔機能管理を受ける患者数	※	433.0	令和元年度	455.0	令和2年	モニタリング指標	
9	・地域包括ケアシステムの構築	9	急性期の医療機関等と回復期の医療機関等の連携体制及び自宅退院困難者に対する医療施設や地域の保健医療福祉サービスとの連携体制が構築されている	C901	退院支援担当者を配置している診療所・病院数		55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング指標	
				C902	地域のサービスとの連携窓口を設置している医療機関数	※	10.5	令和元年10月	10.9	令和3年10月	モニタリング指標	

10	・認定看護師資格取得の促進	10	再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制が整備されている	C1001	脳卒中看護分野の認定看護師数	※	0.4	令和2年12月	0.4	令和4年12月	モニタリング指標	◆改善している(目標は達成している項目と未達成の項目がある)
11	・口腔機能管理医療機関への支援(再掲) ・歯科歯科連携による口腔ケアの推進(再掲)	11	誤嚥性肺炎等の合併症の予防及び治療が行える体制が整備されている	C1101	口腔機能管理を受ける患者数	※	433.0	令和元年度	455.0	令和2年	モニタリング指標	
				C1102	訪問歯科衛生指導を受ける患者数	※	4113.2	令和元年度	3750.4	令和2年	モニタリング指標	
12	・地域包括ケアシステムの構築(再掲)	12	回復期・維持期の医療機関等と急性期の医療機関や施設、地域の保健医療福祉サービスの連携体制が構築されている	C1201	病院に勤務する医療ソーシャルワーカー数	※	7.7	平成29年	10	令和2年	モニタリング指標	
				C1202	退院支援担当者を配置している診療所・病院数(再掲)		55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング指標	
13	・リハビリテーション専門職等の人材の育成 ・介護サービス事業所等の人材の育成 ・リハビリテーション相談の実施	13	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが提供される体制が整備されている	C1301	リハビリテーションが実施可能な医療機関数	※	4.3	令和2年3月	4.5	令和3年3月	達成	4.5
				C1302	訪問リハビリを提供している従事者数	※	10.0	令和2年7月	—	(確認中)	10.7	
				C1303	通所リハビリを提供している従事者数	※	15.2	令和2年7月	—	(確認中)	17.6	
				C1304	リハビリテーション相談件数		166	令和2年度	194	令和4年度		245

改善

悪化

変化なし

達成 目標達成